

記録
35ミリ
白黒／23分

- 企画
全国地域婦人団体連
絡協議会
- 協力
森永製菓株式会社

スタッフ
■製作
村山英治
■演出
西岡 豊
■脚本
鮎沢美子
■撮影
牛山邦一
■演出助手
酒井 修

この映画は、婦人組織の実際運動に呼応して、栄養の問題、子供のしつけの問題も含めた母親向けの社会教育映画として製作された。昭和30年当時の子供の夢や生態が生き生きと描かれた記録として、今日見ると興味深い。



小さい子供たちは、食べることが楽しみだ。朝から晩まで一生懸命、食べることにいじらしいほど関心をもっている。しかし、大人たちは、子供たちが握らされたお小遣いを持ってどこへ行くかまではあまり関心をもたない。

多くの家庭では、おやつの時間をきめてあたえているが、その内容という、子供が喜ぶからというだけで、栄養も何もない子供だましの甘いお菓子が多い。しかし、おやつは、子供たちの食事の一部分となる栄養をもっていないといけないのである。

一方、お菓子の作られているところをみると、お菓子の全部が清潔に作られているわけではなく、保健所の監視の目をぬすむもぐり業者の安菓子もあり、運送の途中で虫がついたりしているものさえある。

この映画は、学校と家庭の間、街頭の子供たちの生態を生き生きととらえ、心も体も満ち足りるおやつを、子供たちが心からのぞんでいることを、お母さんたちに訴えた。